

校長だより 『輝き』

令和5年度（2023年度）2月15日 発行 No.12

暖冬に加え、最近の春の陽気で、子どもたちの気持ちも春を感じさせるような温かく明るい表情に変わってきたように感じます。

そんな中、3学期に入り、能登半島地震により避難を余儀なくされた12名の子どもたちとの新しい出会いがありました。不安を抱える中、蕪城小学校の子どもたちの優しさにより、「学校が楽しい。」「給食が美味しい」という声を聞きます。すっかり馴染んでいる子もいます。今後については、被災地の状況やそれぞれのご家庭の都合により不確定な部分がありますが、12名の子どもたちには、少しでも蕪城小での楽しい思い出をつくってほしいと思います。

さて、いよいよ、今年度も残すところ1ヶ月余りとなり、6年生は、学校へ来る日が20日間、1～5年生は24日間となりました。今の学年としての総まとめと同時に、次の学年に向けての準備期間ともなります。その一つの成果として、6年生を送る会が明日16日（金）に行われます。6年生に、感謝の気持ちと、あとは私たちに任せてほしいという気持ちを込めて、一人一人が全力を尽くします。これまでの練習の様子や、昨日のリハーサルを見る限り、きっと気持ちのこもった素敵な会になる事が目に浮かびます。はやく6年生の嬉しそうな顔が見たいです。

授業参観『6年生を送る会リハーサル』

昨日の5限目の時間に、授業参観『6年生を送る会リハーサル』がありました。たくさんの保護者の皆様にご来校頂き、誠にありがとうございました。子どもたちも緊張の中、持てる力を十分に発揮できたと思います。流感による欠席者が多く、学年としての完成形ではなかったかもしれませんが、とっても素敵な発表でした。明日16日（金）の本番では、昨日参加できなかった子どもたちも、練習の成果を発揮してほしいものです。きっと6年生の心に響く素敵な会になるとと思います。

※6年生は内容は知らないことになっておりますので、6年生の保護者の皆様は、この校長便りの写真も含め、6年生には明日の楽しみということでのご協力をお願いいたします。

